

## 令和8年産米の「生産の目安」について

### 1 算定方法

本県の「生産の目安」は、

- ・ 全国生産量と県産米シェア（平年データ）から算出した数値（目安A）
- ・ 需給動向（直近データ）と在庫量から算出した数値（目安B）

これらの中間値を基本に、必要に応じて販売状況を踏まえ補正を行い設定している。

#### 〈令和8年産米の算定方法〉

今後の主食用米をめぐる状況を考慮すると、放出された政府備蓄米（国全体で約59万トン）に係る買戻し及び買入れが行われる可能性があり、仮に令和7／8年の期間中に実施された場合は、令和8年6月末の在庫量に影響を及ぼすことになるため、在庫量を算定の重要な要素としている目安Bについては、需給動向が見通しにくい状況にある。

このため、令和8年産米の「生産の目安」の算定に当たっては、目安Bは用いないこととし、目安Aのみによる算定とする。

### 2 算定に用いる数値（需要量と県産米シェア）

#### 直近5か年の県産米シェア

年産米	R2	R3	R4	R5	R6	平均
全国需要量(トン)	7,040,000	7,015,000	6,911,000	7,049,000	7,127,000	
県産米需要量(トン)	443,083	417,616	419,589	412,709	421,153	
県産米シェア(%)	6.2938	5.9532	6.0713	5.8549	5.9093	6.0165

出典：米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（令和7年10月）

※R6年産の県産米需要量は、備蓄米放出による影響を考慮した推計値。

これまで、算定に用いた県産米シェアは、直近7か年のうち中庸な5か年の平均値だったが、国が示す需要見通しでは直近5か年の平均値を採用していることから、本県においても直近5か年の平均値を採用することとする。

### 3 令和8年産米の「生産の目安」

(1) 目安A：全国生産量と県産米シェアから算出した数値

①令和8年産主食用米等生産量 (国見通し)	②8年産米(県目安A) (①×県産米シェア6.0165%)	≒	428,000 トン
711 万トン	427,773 トン		

(2) 令和8年産米の「生産の目安」

令和8年産米「生産の目安」 428,000 トン
( 面積換算値 ) ( 74,177 ha )
*面積は「生産の目安」を県平年収量(577kg/10a)で除して算出

8年産の主食用米については、今後の需給見通し等に鑑み、上記のとおりとなるが、中長期的には、生産の目安に含まれない輸出用や加工用なども含め、米全体で増産につながるよう、生産対策と販売対策を両輪で進めていく。

【参考】生産実績等との比較

	6年産	7年産		8年産	前年対比	
	実績	目安	実績	目安	目安	実績
数量	420,200 トン	419,000 トン	477,500 トン	428,000 トン	102%	90%
面積	72,200 ha	72,617 ha	81,200 ha	74,177 ha	102%	91%

【参考】直近5か年の「生産の目安」の推移

年産	生産の目安	
	数量 (t)	面積 (ha)
R7	419,000	72,617
R6	401,300	69,549
R5	398,700	69,100
R4	389,000	67,417
R3	390,000	67,826